

【 庁 議 記 録 】

- 1 日 時 令和8年7月28日（火）午前8時57分～午前9時33分
- 2 場 所 市長公室
- 3 出席者 市長 副市長 教育長 企画財政部長 総務部長
 市民部長 地域文化スポーツ部長 福祉保健部長 子ども家庭部長
 環境部長 都市建設部長 議会事務局長 教育部長
幹 事 政策室長
- 4 欠席者
- 5 会議結果

市 長 これより庁議を開催します。審議事項1「調布都市計画一団地の住宅施設
神代住宅一団地の住宅施設の変更（案）及び調布都市計画地区計画神代団地
地区地区計画の決定（案）について」の説明をお願いします。

部 長 本件は、建物の高経年化や居住者の高齢化に伴い、本団地の管理・所有者
であるUR都市機構が、良好な住環境を維持しつつ、多世代が安心して暮ら
し、交流できる拠点の形成を図るため、狛江市と調布市が一団地の住宅施設
を廃止し、地区計画を決定するものです。

6月30日庁議で報告のとおり、7月6日に開催された都市計画審議会に
おいて諮問したところ、原案のとおり了承する旨の答申を受理しました。

以上を踏まえ、都市計画の変更及び決定を行うことについて、審議をお願
いします。

市 長 特に意見等なければ、案のとおり決定します。

次に、報告事項1「当面の行事日程について」を報告してください。

部 長 9月から11月までの当面の行事日程について、8月17日に開催される会派
代表者会議にて報告します。

この期間の行事としては、10月3日に狛江市民総合体育館リニューアルオ
ープンオープニングセレモニー、10月25日に令和8年度狛江市総合防災訓
練、11月1日に新設図書館開館セレモニー、11月15日に第50回狛江市民
まつり等が予定されています。

市 長 その他ありますか。

部 長 「住まいのこれからノート」の配布についてです。

空家等の発生抑制に向けて、空家等の所有者が住まいについて整理・把握
し、今後の行動を起こすきっかけとなるよう、「住まいのこれからノート」
を作成しました。

本冊子は、株式会社鎌倉新書と協定を締結し作成しており、発行部数は1,000部を予定しています。8月から空家等の所有者へ郵送するとともに、まちづくり事業課の窓口や各地域センター等において配布を行い、市ホームページにおいても公開予定です。

市 長 他にありますか。

部 長 7月14日庁議で審議いただいた、第3回定例会提出予定議案ですが、その後、下水道条例について関係法令の改正に伴う所要の改正が必要になったことから、「狛江市下水道条例の一部を改正する条例」を追加させていただきます。

市 長 他にありますか。

部 長 令和8年度インターンシップの実施についてです。

5月19日庁議で報告した、公募制のインターンシップを8月17日から21日までの期間で実施します。応募状況としては、30人から応募があり、狛江市に関心の高い意欲的な学生を可能な限り受け入れたいという一方で、受け入れ先部署の業務負担もあることから、18人を受け入れることとしました。公募制インターンシップ18人、大学提携のインターンシップ2人の合計20人のインターンシップ生となります。

なお、令和7年度までは、課ごとで受入れを行っていましたが、より多くの人数を受け入れることから、今回から部ごとに受入れをお願いし、5日間の各部での受入れについては、庶務担当課で調整をお願いしたいと考えています。調整いただくに当たり、インターンシップ生の興味のある分野等について現在アンケートを実施しており、結果を基に8月5日をめどに詳細と合わせて庶務担当課へ共有します。各部、2人から3人程度お願いしたいと考えています。人材確保が厳しい中、狛江市に興味がある学生に市の業務に触れてもらい、採用につなげる貴重な機会となりますので、御協力をお願いします。

市 長 多くのインターンシップ生を受け入れることになるので、学生の勉強のためだけでなく、市の魅力を伝えることで、これから狛江市のまちづくりを担う予備軍になっていただければと思います。各部、通常業務をやりながらの受入れは職員の負担になり大変だと思いますが、調整しながら受入れ体制を組んでください。

他にありますか。

部 長 川口まつりについてです。

7月25日、新潟県長岡市川口地域において、川口まつりが開催されました。当日は天気も良く、午後8時から花火大会等があり、盛大に盛り上がりました。7月25日は、39年前の友好都市協定締結日と同日であり、令和

9年度は40周年となります。26日は、悪天候のため残念ながら全ての予定が中止となりました。私は、初めて川口まつりに参加しましたが、40年に及ぶ交流という長い年月を体感し、川口地域の方の狛江市への思いや、川口地域への思いを肌で感じました。狛江市民まつり等では川口地域からも来ていただくことになっているので、交流を今まで以上に深化させて行きたいと考えています。

市長 39年前、私も当時の川口町に入っていて、7月25日は川口町政30周年の記念行事があり、それと同時に、狛江市と川口町との友好都市の締結式があり、狛江市からは全議員が参加しました。ちょうどその時も、花火を見ました。

狛江の花火大会では4寸玉までですが、川口では5寸玉が一番小さく、7寸玉や尺玉が上がるので、音も違いますし、光り方も違います。川口では、職員が協賛金を出して上げたり、企業が上げているものが結構ありました。令和9年度は友好都市締結40周年という記念大会になるので、狛親会や部長会、職員有志で花火の打ち上げを記念事業としてやっても良いかなと思います。

今回残念だったのは、26日に様々なイベントがあり、市からも協賛品を用意していて、職員も行くことになっていたのですが、雷警報が出ており、安全性の点から中止になりました。準備していただいた川口地区の皆様は大変だったと思いますが、今度は狛江市民まつりにその方々が来られるので、市民まつりでは川口のブースに寄っていただき、特産品等をお買い求めいただければと思います。

最後に、7月31日で退任される平林副市長から御挨拶をお願いします。

副市長 副市長として7年4箇月、狛江市職員として44年4箇月。これまで支えてくださった、庁議メンバー、全ての管理職、そして全ての職員の皆さんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

39年前の川口友好都市締結の話がありましたが、当日は松原市長と二人で、行きは車の後部席に狛江のバラをたくさん積んで、帰りは川口のスイカをたくさん積んで帰ってきたことが懐かしく思い出されます。長いようで短い公務員生活でした。

市長が再任を果たされ、3期目を目指すにあたり、ボトムアップ型の組織にしたいというお話をされました。この言葉を考えたとき、副市長である自分が皆さんの意見を吸い上げていたのだろうか、行政経験の長さがかえって漬物石的な存在になってしまい、皆さんの活躍を妨げていたのではないかと考え、この度、副市長職を退任するに当たり、市長のお許しを請うことを決心しました。

これからは皆さんが自由闊達に提案して、自ら行動する新しい組織体を作
っていただきたいと願っています。

これまで本当にありがとうございました。

市 長 平林副市長には、職員から副市長時代まで、様々な分野において粕江市の
発展に尽くしていただきました。平林副市長は多くのスキルをお持ちですの
で、身体には気をつけ、健康に留意しながら、これからも新たなことで御活
躍いただければと思います。長い間ありがとうございました。

他になれば、以上で本日の庁議を終了します。次回の庁議は、8月4日
午前9時00分から開催します。